



# よ い 傳 統

日本鑛業協會

専務理事 園

原

巖

わが金屬鑛業界にはずつと以前から先輩の努力によつて業者が協力しあうというよいならわしがあつた。

戦後はこの傾向が益々強まつて、以前には見られなかつた技術交流が自發的に行われるし、最近では職場教育の面で各社協力の効果を大いに發揮している。毎年各社現場擔當者會議が行われて、各社で實際に成績を擧げた新技術が紹介され、他社はこれを探り入れて各社の技術水準は容易に水準化する。各社の技術者が集つて各地の鑛山製鍊所の現場を視察する。現場で研究會を開いてお互に刺戟しあう。それから又「仕事の教え方」「人の扱い方」の指導員は業界の共通の財寶と考えられてその指導員の下で各社が全く一丸となつて補導員の養成を行う。それによつてこの運動が全國の各鑛山に急速に行き亘る。

業界がこの様に各社の自主性を保ちつつ、お互に協力し、刺戟し合うということ、他の業界に時に見られるように業者同志で醜い、いがみ合いをするよりも遙かにプラスであるということ、各社が十分自覺したとき、この各社の結束は益々強化され、共存共榮は一つのよい傳統となつて、後に續く人々もこれを當然のこととしてその上に更に積み上げて行く。

酷しい國際競争の試練にぶつかつて行くにもこの協調精神を堅く持すればわが業界の生き抜く活路は開かれよう。わが日本鑛業協會はこのよい傳統を確立する上によい絡連者としての役割を果し得れば幸いである。

## 日本鑛業協會誌(第六卷 第三號)

### 三月號目次

(卷頭言)

☆よ い 傳 統……………園原 巖…一

☆日東鑛山の  
地質及び鑛床……………小野三千雄…二

(協會賞論文)

☆鑛水處理について……………馬場一郎…二七

☆ゲルマニウムは電子工學界に早くも  
革命を起さんとしている……………E.M.J誌…二五

(解説)

☆ニッケルの諸問題について……………三〇

(鑛山の科学管理)

☆合理化の緒……………渡辺壮作…二六

☆二十八年度鑛業予算……………一

(茶卓)

☆スクラップは足りないのですか……………二四

▽関係法令……………二七

▽月間の動き……………二六

▽協會だより……………三三

▽ニュース……………三三

▽資料……………三七

【表紙寫眞】

日本鑛業日立鑛山選鑛場浮選機の泡沫  
状況